

# 八幡まるごと館だより 150号に

二〇〇九年八月野菜棚



## 「八幡まるごと館だより」150号記念に 寄せて

2022.5.26 出口修

日米通算150号ホームランの大谷翔平ときしくも同時期に到達しました。おめでとうございます。最近『方丈記』のことを書かれていて、震災やコロナ禍、ウクライナ戦争、自身の歩んできた人生のことなどを振り返りながら、興味深く

読んでいます。

そこで感じたことは、私の何気ない日常の繰り返しの中であっても、変わらないものはないという自身の「無常」を感じさせられました。般若心経の中の「色即空」と通じるものがあります。

私の歴史講座はまだ35回で、「まるごと館だより」には遠く及びませんが、毎回ネタ探しに四苦八苦しています。しかし、熱心に聴きに來てくださる人がいるのは、たいへんありがたいこととと思っています。まるごと館で出会う人たちの縁を大切に、できるだ続けていきたい

と思っています。人はみな「大河の一滴」として人生の流れに身をゆだねています。芭蕉の「奥の細道」にもあるように、「月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人也」

同じ時代に生き、同じ地域で暮らす私たちにとって、まるごと館で同じ時間を共有することは、たとえばわずかな時間

であっても、かけがえのないひと時だと感じるようになりました。

まるごと館は、そこに集う人々にとって、しばし楽しい語らいの時間を提供してくれる場所であることを願っています。

**(歴史の講座や街道をゆく案内役をしていただいています)**



2014年6月絵手紙

### 坂東貴代子

仕事をしていた頃に上谷さんと同じ職場にいたことがあり、退職後、まるごと館に顔を出すようになりました。

森本さんの「絵手紙講習会」と出口さんの「歴史を学ぶ新八幡の歴史」に参加させてもらっています。

以前から絵を描いてみたいとずっと思っていたのに何もせず。亡くなった義父の書棚に「八幡市史」があるのを知りながら、開いてみることもありませんでした。まるごと館はそんな私の背中を押してくれました。きっかけがなければ何かを始めることはなかなかできませんね。

まるごと館だよりも毎号楽しみに拝見しています。150号おめでとうございます。いつも誌面から上谷さんがまる

ごと館の活動をととても大切にされていることが伝わってきます。上谷さんの耕造さんへの思いに読みながら涙したこともあります。コロナの感染が拡大して、まるごと館の活動がままならず、講習会の参加者少なかった時上谷さんはとても淋しそうでした。しばらくお顔を見ない方のことも心配されていました。

そんな中でも地道に活動を続け、まるごと館だよりを発行されている姿に私もがんばらなければと思いました。これからもまるごと館だより、楽しみにしています。



2016年7月八幡の歴史

### 地域での居場所

### 小西まち

まるごと館だより150号達成おめでとうございます。

毎回まるごと館での活動一オカリナ・絵手紙・それにシーズンの味噌作り・ぬか床作りなどが写真入りで掲載されていて楽しく読ませてもらっています。私は今回はじめて味噌作り・ぬか床に挑戦しました。出来上がりが楽しみです。

今も続いている鴨長明「方丈記」の読み込みがなぜここまでこだわって続い

## 八幡まるごと館だより

2022年6月8日/144号

<発行> 八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20  
(TEL&FAX) 075-983-3664(9時~17時)  
(E-MAIL) [yawata@marugotokan.net](mailto:yawata@marugotokan.net)  
ホームページは <http://marugotokan.net/>  
又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。

ているのか、私も読んでみました。(堀田善衛「方丈記私記」も)。そしてそれは方丈記に書かれていることが今にも通じるものの見方、考え方だからだと思います。すごいです。

私は仕事をしていたので地域の方とはほとんどつながりがありませんでした。でも絵手紙やオカリナでまるごと館にいくようになって、今まで知らなかった方たちと少しずつおしゃべりをするようになりました。何でもないことで笑ったり、地域のいろんなことを教えてもらったり、私にとってまるごと館は地域での居場所・まさにコミュニティです。これからもよろしくお祈りします！



2019年6月オカリナコンサート

### まるごと館との出会い

吉田東子

70歳で仕事をリタイアしていざ何をしようかなあと散歩の途中「絵手紙楽しみませんか」の張り紙で、まるごと館にお世話になりはや10年(?)近くになりました。

いまやオカリナ、さをり織り、八幡の歴史、ハイキング、理科の実験、色々な楽しみをさせていただき元気をいただいでい

ます。又花、木々めぐり散歩に誘ってくれる友達があれば共に出掛け、今年には城南宮の優雅なしだれ梅、淀の河津桜、戸津池の桜並木、雪柳。5月には新緑の木々等美しい景色を楽しみました。

今後も、まるごと館での出会いを楽しみにして元気で過ごしたいと思います。上谷さん今後もよろしくお祈り致します。



2015年11月街道をゆく

**祝**「八幡まるごと館だより」発刊150号、おめでとうございます。

八幡城ノ内 高井 輝雄

2009年11月の創刊から数えて、ほぼ毎月1回のペースになりますね。すごいことだと思います。

まるごと館の創設者・上谷耕造さんの遺志を継がれた順子さんが、自らの役割と心に受けとめ、「八幡まるごと館」の運営主宰となり、その情報誌の編集にずっと取組んでこられたご苦労は計り知れません。

**編集者の人柄・雰囲気づくりに共感**

「まるごと館」は、今や最高の拠り所として皆さんが自由に立ち寄り、いろ

いろな催しに参加され、朝市などの事業を展開される活気ある場となっています。

それもこれも、まるごと館だよりの編集者である順子さんの人柄と集まりやすい雰囲気づくりにあると感じています。

また、まるごと館を利用し、各種事業に参加・協力し支援されている皆さんの熱い思いがあるからだとも考えます。

**今年丸山団地の入居開始50年**

今年丸山団地(A地区・第二住宅)の入居が始まって50年の節目の年にあたります。当時、西日本では千里ニュータウンに次ぐ二番目の規模を擁する大団地計画です。もともと町の人口が2万5千人、そこへ3万2千人の入居者を迎えるというのです。市(町)制史上最大の出来事で、それは大変であったことを思い出しています。



昭和52年4月完成記念市HPより(上谷)

安心して町に移ってこられるよう住宅選び・鍵渡しの段階から町が出前し相談、仮転入届の受付したことを覚えて

います。もちろん、整った公共施設の整備、財源の工面は団地開発の最大の問題でありました

**必要な気さくに立寄れる場所**

それから50年を経過した今、丸山団地の環境は大きく様変わりしましたね。



今の丸山団地市のHPより(上谷)

少子・高齢化、保・幼・学校の改編・統合が顕著に進みました。

また、身近な商業・サービス施設は集約・大型化され、医療や福祉・介護施設等は増えたものの、高齢者には遠く不便となり、制度利用が分かりにくく戸惑うことが多くなっています。コロナ禍は余計に人と人を疎遠にしがちです。

こんなとき、人が人を助け合い励まし合って、毎日の暮らしを楽しくしていく仕組みづくりが今最も大事だと私は思います。

その意味で「まるごと館」のような拠り所となる気さくに集まれる場所の存在意義は誠に大きいと考えます。

**“待ってます” まるごと館だより**

「まるごと館だより」は独特なスタイ

ルで、たまに次の文章が何処へ移るのか迷うことがあります。が、館で活動する人物写真の数多い掲載はアットホーム感でほのぼのします。レイアウトにも工夫を凝らされています。いつも元気もらっています。毎号の編集が大変なことと拝察しながら…。

これからも館からのメッセージにあるように、「八幡まるごと館が街行く人のだれもが自由に立ち寄れる地域サロン」で、あり続けることを期待しています。

そして、その活動の情報を伝える「まるごと館だより」が、充実し継続されることを皆で応援していきたいと思っています。

(街道をゆくで案内役をして下さいました)



2017年10月絵手紙講習会

この頃感じること

森本玲子

それは「みんな違ってみんな良い」。

それぞれ個性のある作品がいきいきと表現されているということです。和気あいあいと話し合いながら描かれる場は何物にも代えられない明日へのステップの場でもあると信じています。

(絵手紙講習会で教えていただいています)



2019年9月コンサートお菓子作り

「まるごと館たより 150号」に寄せて  
中浦敬子

「まるごと館便り」150号おめでとうございます。

150号の発刊にあたり、以前の「まるごと館便り」を読み返してみました。驚くことに、パソコン教室、オカリナ、歴史を学ぶ会、絵手紙、楽しい理科、折り紙、パッチワーク、味噌作り、沢庵漬け、街道をゆく等々数えきれないほどの活動がありました。街道をゆくは出口さん、高井さんに八幡の歴史や文化を現在も進行形で教えていただいているところでした。

クリスマスコンサートや数えきれないほどの活動が、コロナウィルスの影響でバタッと止まり、誰も考えられない事が起きたのです。それも世界中で。

私もまるごと館にお米や野菜を買いに行っても、コロナ予防に留意して用事を終えるようにしています。ある時館長の上谷さんが一人パソコンに向かっていました。上谷さんは「方丈記」(800年前の平安時代末)の鴨長明を紐

解いていたのです。当時はどうしたのか？また百年前のスペイン風邪の時はどうであったのか？今のように文明が発達していてもこれだけ右往左往しているのに、当時はどうだったのか等々です。何が正しいのか理解しにくい世の中です。

でも、まるごと館パワーは捨てたものではありません。最初のコロナワクチン接種では予約に振り回されていましたが、各自が持ち味を発揮して連絡を取り合い、早めに接種が受けられるように助け合う力はさすがに感心しました。まだコロナウィルスが沈静化せず、楽観できない面はありますが(ゆく川の流れるは絶えずして、しかも元の水にあらず：方丈記より)、少しでも、手探りで先に進んでいくことを切に祈っています。これからもまだまだ続く「まるごと館便り」を楽しみにしています。

(パッチワークの講師をして下さいました)



2017年8月パッチワーク

原稿をいただいた方から順に掲載しました。敬称略です。ありがとうございました。



2016年9月理科の実験

暖かいお言葉をありがとうございます。

上谷順子

高井輝雄さんが150号だからと言って下さって、皆さんが書いて下さいました。特にコロナ禍ではまるごと館参加者が少なくなって、たまらない気持ちで過ごしていました。その時から色々な場面で支えていただいているのを実感していました。

この2年間余りには絵手紙、八幡の歴史、理科の実験の3つの講座が中心でした。それも時期を延期したりしながら、講師の森本玲子さん、出口修さん、木下章司さんをはじめ、参加者の方々にも随分力をいただきました。参加者はコロナ禍以前に比べればかなり減りましたけれど。

また、毎週のオカリナの皆様方には言うまでもなく、旧知の間柄のような親しみを覚えています。

また、まるごと館たより2020年4月からは『これからのことを』と題してずっと書いてきました。今から800年以上も前に書かれた方丈記には困難な時を



2015年4月オカリナ結成時

生きる叡智が秘められているように思いました。戦後の混乱期や東日本大震災等の時等沢山の方々がこの方丈記を手にしたと聞きますから。

元々、古文は苦手どこまで読み取れるか、私自身が陥った今回のしんどさからの脱却を願って始めたことでしたが、まるごと館たよりを共に読んで下さる方々に励まされて書き続けることが出来ました。専門家の方が御覧になったら、私の拙い方丈記の読み取りを

### <5月にこんなことをしました>



### 絵手紙講習会

流センター、第3住宅、まるごと館が合同で行うと言うことです。9月1日(木)から9月11

11日 講師の森本玲子さんより連絡です。今年は文化センターミニギャラリーで展示をしますが、森本さんが関わっておられる5か所(八寿園、コスモス男山、市民交

日(日)の予定です。搬入8月30日(火)です。お手伝いをよろしく願います。

### オカリナひまわり



23日 今の状態が続くようであれば、12月初めにクリスマスコンサートを。そのための楽譜を集めて練習をしていこうと考えています。張り合いを持って取り組めるのが少し今までと違う所です。上に

結成時の写真を載せていますが、もう8年も経ったんです。手前みそですが上達したもんです。

笑っておられるかもしれませんが。こういうことがあってもいいのではないかと今では思っています。それぞれの「方丈記私記」があつていいと。『これまでのことを』をまとめるのは今後していこうと思つていますのでこれくらいにします。

このコロナ禍が教えてくれたことは以前から籠っていた方がよりしんどくなつていったということかなと思います。ますますひとが集まる事が出来る場、つながりが持てる場が必要とされている。まるごと館が今後どう動くかにかかつてきていると考えています。それに連なるまるごと館たよりも勿論です。今後ともよろしく願います。

### 理科の実験



27日 コットンボールを作りました。木下章司さんはそのために、色々と準備して下さって参加者一同楽しみま



した。水風船を膨らませてその上にボンド水に浸した刺繍糸を巻いていきます。それを乾かすためにドライヤーを使いました。中



の風船を爪楊枝でつくつくと音がし



て出来上がります。その下にLEDチェーンライトを置いたら見事でした。宮地さんもありがとうございました。

八幡まるごと館 6月・7月の予定

休館 6月6日(月)

### <絵手紙講習会>

6月8日(水)午後1時30分～ 講師 森本玲子さん 参加費 400円(コーヒーつき) 次回は7月13日(水)です

### <パソコン教室> 毎週月曜日 10時～12時です

6月13日(月)10時～12時 パソコンを持って来て下さい。費用300円(コーヒーつき)

### <オカリナクラブ ひまわり> 楽しめる時に

6月13日(月)13時～ 参加費100円 全員参加ではありません 練習日は月曜日だけに

### <歴史を学ぶ 新八幡の歴史 N036>

7月7日(木)13時30分～ 講師出口修さん 参加費100円 月1回です

<楽しい理科の実験 N044紫外線チェッカー> 持ち物 なし 初めての方もどうぞ 7月29日(金)13時30分～ 講師木下章司さん 参加費300円(コーヒーつき)

### <あんなこと・こんなこと>

\* 夫の実家が8年間空き家状態でした。先日その小豆島に3年振りに行ってきました。旅館が閉じていたり、以前お目にかかっていた人とさえ連絡がとれませんでした。地元では人気があった、今回泊まったホテルではこの6月15日で閉じるということでした。嬉しくなる食事、対応でしたが、寂しい限りです。たくさん話をしました。人ってこうやって生きていけるのかもしれないと思つた次第です。

\* 未だに戦争が続いています。日本では戦争体験者が少なくなりました。その継承ができないでいるのか、戦争の武器に兵器にどの発言が勇ましくなされています。だれがそれを持つのか、自分の孫やその子かもしれないと思つてみることも一方で必要ではと。

\* 秋くらいから館でできることをと考えています。ご協力をよろしく願います。様子を見ながらですが。(うえたに じゅんこ)